

日本植物形態学会第24回総会・大会（2012年9月14日） プログラム

本学会第24回総会・大会を下記のように開催いたします。例年どおり、植物学会の大会前日に同都市で開催いたしますので、多数ご参加下さい。当日参加も大歓迎いたします。周りの皆様にもお声をおかけくださりますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本植物形態学会会長・野口哲子（奈良女子大学）
第24回大会会長・峰雪芳宣（兵庫県立大学）
第24回大会準備委員長・酒井敦（奈良女子大学）
第24回大会会計委員長・林八寿子（新潟大学）

1. 期日 2012年9月14日（金）

2. 会場 兵庫県立大学姫路書写キャンパス（兵庫県姫路市書写2167）

会場への交通や地図は本案内末尾をご覧ください。

3. プログラム

12:00-12:45	評議員会（4号館 4階 4402室）
13:00-13:45	総会（4号館 4階 4401室）
14:00-15:15*	受賞記念講演会（4号館 4階 4401室）
15:15-15:30	ポスター貼付け（新体育館）
15:30*-17:30	ポスター発表（新体育館）
17:30-17:45	ポスター賞表彰ほか（新体育館）
19:00-21:00	懇親会（ゆずの小町）

※ポスターの貼付けは15:15の講演会終了後に一斉に行います。会場の準備作業の都合上、それ以前には貼り付けに行かないよう、お願いいたします。

4. 参加費 一般2,000円、学生1,000円（大会当日に受付でいただきます）

非会員（一般・学生）の参加費は、それぞれ上記の1,000円増しです。学生の年会費は1,000円ですので、参加予定の非会員の学生さんには是非入会をお勧め下さい。年会費（一般3,000円、学生1,000円）の未納分についても、受付にて納入を承ります。

5. 総会および日本植物形態学会三賞授賞式（13:00～）

「学会賞」：	箸本 春樹	（東京大・院・総合文化）
「平瀬賞」：	笠原 竜四郎	（名古屋大・ERATO）
「平瀬賞」：	中山 北斗	（京都産業大・総合生命科学）
「奨励賞」：	武田 征士	（京都府立大・生命環境科学）

6. 受賞記念講演会（14:00～）

学会賞：「細胞内共生説に魅せられて」

箸本 春樹（東京大・院・総合文化）14:00-14:45

奨励賞：「花卉形態形成の分子メカニズム」

武田 征士（京都府立大・生命環境科学）14:50-15:15

7. ポスター発表プログラム（申し込み順，貼付け 15:15～，発表 15:30～17:30）

[平瀬賞 1]

Kasahara RD, Maruyama D, Hamamura Y, Sakakibara T, Twell D, Higashiyama T (2012) Fertilization recovery after defective sperm cell release in *Arabidopsis*. *Current Biology* 22: 1084-1089.

[平瀬賞 2]

Nakayama H, Yamaguchi T, Tsukaya H (2012) Acquisition and diversification of cladodes: Leaf-like organs in the genus *Asparagus*. *Plant Cell* 24: 929-940.

1. X線コンピュータトモグラフィーによるシロイヌナズナの胚の非侵襲観察
栗林剛正¹、唐原一郎¹、玉置大介²、上杉健太郎³、竹内晃久³、鈴木芳生³、山内大輔⁴、峰雪芳宣⁴（¹富山大・院・理工、²香川大・農、³高輝度光科学研究センター、⁴兵庫県大・院・生命理学）
2. 代謝異常が引き起こす形態変化について
川出健介¹、澤田有司¹、坂田あかね¹、佐藤心郎¹、平井優美^{1,2}（¹理研・植物科学研究センター、²JST CREST）
3. オルガネラ核様体における Micrococcal nuclease による分解から DNA を保護する構造の比較解析
田草川真理¹、土井彩加²、酒井敦²（¹奈良女子大・院・人間文化、²奈良女子大・理・生物）
4. 雄原細胞が花粉管細胞内細胞化する機構
平塚理恵・寺坂治（慈恵医大・自然科学・生物研）
5. 高圧凍結固定法が明らかにした緑藻細胞内共生リケッチア "*MIDORIKO*" の超微細構造
川船かおる¹、佐藤繭子²、豊岡公德²、野崎久義¹（¹東京大学・院理・生物科学、²理研・植物科学研究センター）
6. 単細胞性緑藻クロロモナス属 1 新種の微細構造と分類
松崎令¹、仲田崇志²、原慶明³、野崎久義¹（¹東京大・院理・生物科学、²慶應大・先端生命研、³山形大・理・生物）
7. 気相を介した異種真菌間の成長と分化の調節
木内葉子¹、木村知子²、竹内孝江²、木内正人³、鈴木孝仁¹（¹奈良女子大・院・生物、²奈良女子大・院・化学、³産業技術総合研究所）
8. 吸器囊膜上における宿主エンドソーム制御因子 RAB5 の機能制御がうどんこ病菌感染確立に重要な役割を果たす
稲田のりこ¹、別役重之²、海老根一生²、伊藤瑛海²、朽名夏磨³、馳澤盛一郎³、福田裕穂²、中野明彦^{2,4}、上田貴志²（¹奈良先端大・バイオ、²東京大・院・理、³東京大・院・新領域、⁴理研）
9. カワゴケソウ科カワゴロモ属の実生形態の多様性
厚井聡¹、加藤雅啓²（¹奈良先端大・バイオ、²科博・植物）
10. *rpl4d* が示す花序形態異常の解析
尾内紀之¹、塚谷裕一²、堀口吾朗^{1,3}（¹立教大・理・生命、²東大・院・理、³立教大・理・生命理センター）
11. 耐塩性イネ科植物ローズグラスにおける塩排出と塩腺細胞の微細構造
大井崇生、谷口光隆、三宅博（名古屋大・院・生命農学研究科）
12. 緑藻 *Botryococcus braunii* の細胞外蓄積物質について
宇野由紀、渋谷枝里香、野口哲子（奈良女大・理・生物科学）
13. 微小管動態に関与するオーロラキナーゼの解析
長島慶宜、北原英里奈、坂本卓也、松永幸大（東京理科大・理工・応用生物科学科）

14. *fugu5*に見られる補償作用の分子機構解明を目的とした DNA マイクロアレイ及び逆遺伝学的解析
Ferjani Ali¹、岡本瑞穂¹、石川直子²、堀口吾朗³、塚谷裕一² (1東京学芸大・教育・生命、2東大・院・理、3立教大・理・生命理)
15. 植物の細胞伸長制御系における V-ATPase の役割の解明を目的とした遺伝学的解析
花井研哉¹、○前田沙緒理¹、風間裕介²、平野智也³、阿部知子^{2,3}、塚谷裕一⁴、Ferjani Ali¹
(1東京学芸大・教育・生命、2理研・仁科センター、3理研・イノベーション推進センター、4東大・院・理)
16. Global-Local Live Imaging Microscope (GLIM) システムを用いた細胞分裂位置における構造および分子のダイナミクスと細胞全体の並行観察
玉置大介^{1,2,3}、峰雪芳宣^{2,3} (1香川大・農学部、2兵科大・院・生命理学、3JST・先端計測)
17. シロイヌナズナヒストン修飾変異体の根の解析
田中彩子¹、金鍾明²、坂本卓也¹、関原明²、松永幸大¹ (1東京理科大・院・理工学研究科・応用生物科学専攻、2理化学研究所植物科学研究センター)
18. 植物細胞核における DNA 複製フォーカスのイメージング解析
林耕磨¹、西浜竜一²、長谷川淳子¹、豊岡博子³、金鍾明⁴、関原明⁴、野崎久義³、松永幸大¹
(1東京理科大・院・理工学研究科・応用生物科学専攻、2京都大学・院・生命科学研究所、3東京大学・院・理学系研究科、4理研・植物科学研究センター)
19. シロイヌナズナにおけるオーロラキナーゼのイメージング解析
北原英里奈¹、松永朋子¹、伊藤正樹²、坂本卓也¹、小牧伸一郎³、石田喬志⁴、栗原大輔⁵、杉本慶子³、松永幸大¹ (1東京理科大・理工・応用生物、2名古屋大・農・生命技術科学、3理研 PSC・細胞機能、4奈良先端・バイオサイエンス、5ERATO)
20. 原始紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* におけるオーロラキナーゼの動態解析
加藤翔一¹、井元祐太^{2,3}、大沼みお³、松永朋子¹、黒岩晴子³、河野重行²、黒岩常祥³、松永幸大¹ (1東京理科大・院・理工・応用生物、2東大・院・新領域・先端生命、3立教大・理・生命)
21. 花粉管ガイダンスの分子実体解明に向けて一マイクロ流体デバイスを用いた試み
水多陽子^{1,2}、洞出光洋^{1,2}、後藤宏旭¹、加地範匡³、新田英之^{1,2}、東山哲也^{1,2} (1名大・院・理、2JST・ERATO、3名大・院・工)
22. 雌雄異株植物ヒロハノマンテマの雌雄開花同調性と両性花変異体の単離と雌雄同調性解析
青沼航¹、川元寛章¹、石井公太郎²、風間裕介³、阿部知子^{2,3}、河野重行¹ (1東京大・院・新領域・先端生命、2理研・仁科・生物照射、3理研・イノベ・イオン育種)
23. 緑藻アミミドロの液胞発達過程における微細構造変化
田中学、幡野恭子 (京都大学・院・人間環境)
24. 雌雄異株植物ヒロハノマンテマの効率的な染色体標本の作製
石井公太郎¹、風間裕介²、青沼航³、川元寛章³、阿部知子^{1,2}、河野重行³ (1理研・仁科・生物照射、2理研・イノベ・イオン育種、3東京大・院・新領域・先端生命)
25. DNA 損傷応答におけるシロイヌナズナオーロラキナーゼの解析
坂本卓也、森田明裕、松永幸大 (東京理科大・院・理工・応用生物)
26. 葉の柵状組織における DNA 量と細胞体積の解析
片桐洋平¹、長谷川淳子²、塚谷裕一³、松永幸大¹ (1東京理科大・理工・応用生物、2東京理科大・院・理工・応用生物、3東京大・院・理学系・生物科学専攻)
27. ホルモンバランスの変化と DNA 損傷による細胞体積と DNA 量の相関解析
長谷川淳子¹、桧垣匠²、伊藤正樹³、馳澤盛一郎²、松永幸大¹ (1東京理科大・院・理工・応用生物、2東京大・院・新領域・先端生命、3名古屋大・院・生命農学・生命技術科学専攻)
28. シロイヌナズナにおけるミトコンドリア形態の解析
片山健太、和田元、有村慎一、堤伸浩 (東京大・院・農)

29. ツルギバモウセンゴケ(*Drosera adelae*)の腺毛の起源を探る：その発生の形態学的観察
服部考郎¹、市橋泰範²、中山北斗³、塚谷裕一¹(¹東京大学・院・理、²Dept. Plant Biol., UC Davis,
³京産大・総合生命)
30. トレニア成熟雌しべに見出された新規花粉管ガイダンス現象の解析
金岡雅浩¹、葛谷元規¹、東山哲也^{1,2}(¹名古屋大・院・生命、²JST・ERATO)
31. ミトコンドリア-マイクロボディ複合体分裂後における非収縮環依存型細胞質分裂機構の解明
井元祐太^{1,2,3}、西田敬二²、八木沢芙美²、吉田大和²、大沼みお^{2,3}、吉田昌樹²、藤原崇之²、
黒岩晴子^{2,3}、黒岩常祥^{2,3}、河野重行^{1,3}(¹東大・院・新領域、²立教大・理、³JST・CREST)
32. 単細胞紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* を用いた脂肪滴増加株作出の試み
大沼みお^{1,2}、井元祐太^{1,2,3}、黒岩晴子^{1,2}、黒岩常祥^{1,2}(¹立教大・理、²JST・CREST、³東大・
院・新領域・先端生命)
33. ホロニックコミュニケーションを担うシグナリング分子の可視化に向けて
栗原大輔、東山哲也(名古屋大・院・理、JST ERATO)
34. 広義サクラ属 (*Prunus*) の系統とシュート構成の解析
伊達鷹¹、荒川悠¹、望月香²、邑田仁³、岩元明敏¹(¹東京学芸大・生命科学分野、²京華女子高
等学校、³東京大・院・理学系研究科附属植物園)
35. 液胞膜の構造に異常が生じる変異体#64 の解析
齊藤知恵子¹、中野雄司²、木内玲子²、植村知博¹、栗井千絵²、坂本智明³、倉田哲也³、安部弘²、
上田貴志¹、中野明彦¹(¹東京大・院・理学系研究科、²理研・基幹研、³奈良先端大・バイオ)
36. ヤエヤマヒルギ幼植物体の生存・成長・呼吸・光合成に対する NaCl の影響
金井浩美¹、田嶋允規²、酒井敦²(¹奈良女子大・院・人間文化・²生物科学、奈良女子大・理・
生物)
37. 生物画像の自動分類ソフトウェア「カルタ」の開発
松永幸大¹、朽名夏磨²、桧垣匠²、馳澤盛一郎²(¹東京理科大・理工・応用生物、²東京大・院・
新領域・先端生命)
38. シロイヌナズナ *in vitro* 胚発生系の開発を基盤とした光顕微操作による胚発生過程の解析
牛王啓太¹、栗原大輔^{1,2}、浜村有希³、東山哲也^{1,2}(¹名大・院・理、²JST・ERATO、³名大・
生物機能開発利用研究センター)
39. 光細胞操作によるシロイヌナズナ雌雄生殖細胞機能の解析
永原史織¹、須崎大地¹、武内秀憲¹、浜村有希²、東山哲也^{1,3}(¹名大・院・理、²名大・生物機
能開発利用研究センター、³JST・ERATO)
40. ヒマラヤスギ周囲の裸地は他感作用によるものか？II. 他感物質の供給経路と季節変化
酒井敦¹、田嶋允規¹、高谷敦子¹、宮内友恵²(¹奈良女子大・理・生物、²生物科学、奈良女子
大・院・人間文化)
41. 単細胞緑藻クラミドモナスにおいて細胞質遺伝は Gsp1 によって制御される
西村芳樹、田中瞳、鹿内利治(京都大・院・理学・生物科学)

参考：参加登録者リスト（五十音順） 青沼航、石井公太郎、石川実起、石田雅典、稲田のりこ、井元祐太、今市涼子、岩元明敏、宇野由紀、大井崇生、大出奈穂子、大隅正子、大槻涼、大沼みお、笠原竜四郎、風間裕介、片桐洋平、片野真奈、片山健太、加藤翔一、金岡雅浩、唐原一郎、川出 健介、川船かおる、木内葉子、北原英里奈、栗林剛正、栗原大輔、郡司玄、厚井聡、牛王啓太、小林恵、齊藤知恵子、酒井敦、坂口修一、坂本卓也、佐藤繭子、鮫島正純、城座佳希、鈴木玲子、高谷敦子、田草川真理、武田征士、田嶋允規、伊達鷹、田中彩子、田中学、玉置大介、土井彩加、長島慶宜、永田典子、永原史織、中山北斗、西村芳樹、野口哲子、野崎久義、箸本春樹、長谷川淳子、幡野恭子、服部考郎、林八寿子、林耕磨、平塚理恵、Ferjani Ali、堀口吾朗、前田沙緒理、松崎 令、松永幸大、水多陽子、峰雪芳宣、森稔幸、諸星友里加

当日参加、当日の追加発表も可能です。申し込み間に合わなかった方もポスターをご用意下さい。(その場合でも、あらかじめ庶務幹事あてにご一報頂けると助かります。)

8. ポスター発表講演要旨

要旨は、植物形態学会要旨集として学会ホームページで事前公開されるとともに、後日 Plant Morphology 誌に掲載（および J-STAGE 上で公開）されます。

9. ポスター発表の形式

ポスターパネルは1題あたり縦200 cm、横90 cmです。ただし、パネルの左上に、縦10 cm×横25 cmの大きさの発表コード（プログラム番号）を添付しますので、その部分はポスターの展示に利用できません。ポスターの上部には発表者氏名・所属、表題を明記して下さい。画鋸やテープ等の貼り付け用具は本学会で用意いたします。ポスターの貼付けは、15:15～15:30の間に行ってください。

10. ポスター賞

大会に参加した一般会員の投票により、ポスター賞を一件選びます（平瀬賞ポスターは対象外）。大会受付にて投票用紙をお渡ししますので、賞を与えたいポスターの番号を記入の上、会場に設置する投票箱に17:10までにご投票下さい。集計の上、受賞者を決定し、会長から賞状と副賞を授与します。表彰式は17:30より、ポスター会場にて行います。

11. 植物学会における共催シンポジウム

翌日の9月15日（土）から兵庫県立大学書写キャンパスで開催される日本植物学会第76回大会では、日本植物形態学会が共催するシンポジウムとして、「加圧凍結法が切り拓く世界」が鮫島正純・大隅正子会員をオーガナイザーとして、また、「Beyond Imaging～進化する超顕微技術のパイオニア・シンポジウム～」が松永幸大会員をオーガナイザーとして、それぞれ開催されます（それぞれ認定NPO法人総合画像研究支援、JST先端計測事業との共催）。こちらにも奮ってご参加下さい。シンポジウムの詳細については、日本植物学会の大会プログラムをご覧ください。

12. 懇親会

今年度も会員相互の親睦をはかるために、姫路駅近くの店での懇親会を企画しました。小さな学会ですので、若手・重鎮の隔たりなく酒を酌み交わしながら学問への思いを語り、有意義なひとときを過ごしましょう。まだ若干の余裕がありますので、ご都合のつく方はご参加下さい。

日時：2012年9月14日（金）19:00-21:00

場所：〒670-0924 兵庫県姫路市紺屋町38 カルザ姫路 B1 「ゆずの小町」 Tel: 050-5798-1319

（JR姫路駅 徒歩3分、山陽電鉄本線山陽姫路駅 徒歩3分）

会費：一般5,000円、学生3,000円

追加申し込み締め切り：9月8日、庶務幹事酒井まで。（sakai@cc.nara-wu.ac.jp）



13. その他

- (1) 本学会では、昼食等ご用意しておりません。必要な方は各自ご用意下さい。大学会館1階に食堂が、大学会館2階に生協の売店があります。キャンパス周辺には食堂はほとんどありません。最寄りのコンビニも歩いて15分程度かかりますのでご注意下さい。
- (2) 要旨集は9/10までに学会ホームページに掲載する予定です。ダウンロードしてご利用下さい。
- (3) 翌日から開催される日本植物学会第76回大会準備委員会から、下記のような依頼が来ております。日本植物学会にも引き続き参加される会員の方は、ご協力をお願いいたします。記入用の調査用紙は、植物形態学会の当日、受付に用意させていただきます。

植物学会大会準備委員会から植物学会第76回大会に参加される方へのお願い

本大会では姫路市の大会開催補助金を申請しています。補助金の額は、兵庫県以外からのお客様が姫路市内のホテルに泊まった宿泊数に比例しています。準備委員会としては、のべ500泊を予定しています。兵庫県以外の方で宿泊を予定されている方は、できるだけ姫路市内のホテルに宿泊の上、大会会場で、調査用紙に記入をお願い致します。

-
- (4) 上述の、日本植物学会において開催されます本学会と認定NPO法人総合画像研究支援（NPO IIRS）との共催シンポジウム“加圧凍結法が切り拓く世界”に関連して、下記のような催しが開催されます。IIRSからの案内文を下に掲載します。詳細は、本学会HPに掲載の資料をごらんください。

電子顕微鏡に興味を持っている、あるいは電子顕微鏡の試料作製等で疑問や質問のある皆様へ

9月に開催される植物学会第76回（姫路）大会では、認定NPO法人総合画像研究支援（NPO IIRS）と日本植物形態学会の共催で、シンポジウム“加圧凍結法が切り拓く世界”が行われます。このシンポジウムと関連して、翌日16日（日）に、同じキャンパスで電子顕微鏡に関する講習会と相談会を開催することにしました。ウルトラマイクロトームの講習会は、実際にライカのウルトラカットを使つての試料作製を、ライカの伊藤さん、石原さんが指導してくれます。2時間程度の講習会で、午前と午後、同じ講習会を2回開催する予定です。また、相談会の方は、元弘前大学教授の鮫島先生が、指定している時間の間部屋におられて、電子顕微鏡の試料作製等、日頃から疑問に思うこと等にたいして専門家としてアドバイスなどを行うことを予定しています。電子顕微鏡を開始して、いろいろ相談してみたいと思う方にはちょうど良い機会かと思っておりますので、学会の空いている時に、気軽に立ち寄って頂ければと思っています。講習会も相談会も無料です。

尚、ウルトラマイクロトーム講習会は、人数制限があります。余裕があれば当日でも参加受付しますが、あらかじめ予約（予約連絡先：sameshima@jiirs.org）して頂けると助かります。

IIRS 大隅正子、兵庫県立大 峰雪芳宣

-
- (5) 大会・懇親会に関する問い合わせは、

〒630-8506 奈良県奈良市北魚屋西町 奈良女子大学理学部生物科学科
日本植物形態学会庶務幹事・第24回大会準備委員長 酒井 敦
Phone&Fax: 0742-20-3425、 e-mail: sakai@cc.nara-wu.ac.jp

までお願いします。

大会前日、あるいは当日の連絡は携帯電話 090-6050-6084 まで。（行事の開催中や移動中は応答できない場合があります。ご了承下さい。）

14. 大会会場へのアクセス

大会会場は兵庫県立大学姫路書写キャンパス（〒671-2201 兵庫県姫路市書写 2167）です。

JR（山陽本線、播但線、姫新線、山陽新幹線）をご利用の場合：姫路駅下車の後、神姫バスターミナル「姫路駅（北口）」のりばより神姫バス 41～45 系統に乗車、「県立大工学部」で下車（姫路駅から約 30 分・360 円）。

私鉄（山陽電鉄）をご利用の場合：山陽姫路駅下車の後、神姫バスターミナル「姫路駅（北口）」のりばより神姫バス 41～45 系統に乗車、「県立大工学部」で下車（姫路駅から約 30 分・360 円）。

